

# 有脇小学校区 ありわきほのぼの会 ダイジェスト

発行元：半田市 平成30年3月発行

～行方不明者搜索模擬訓練編～



日時：平成30年2月26日（月）事前勉強  
平成30年3月12日（月）搜索訓練  
13時30分～15時30分

場所：有脇公民館（有脇町5-1-1）

内容：事前に、認知症理解のための講座と、  
行方不明者搜索の際の声のかけ方を学  
び、搜索訓練当日を迎えました。

参加人数：41名

**第1・2回の井戸端会議で、地域の見守りについての仕組みを考えていきたいという声が多かったため、今回初めて、有脇地区での行方不明者搜索模擬訓練を実施しました。事前勉強会から、地域の事業所のみなさんにも協力いただき、地域一丸となって取り組むことができました。**

## ◇事前勉強会 ～行方不明者搜索模擬訓練を実施する前に声のかけ方などを学びました～

認知症サポーター養成講座を受講したあと、行方不明者発見時の声のかけ方等の対応を学びました。

## ◇行方不明搜索模擬訓練 ～地域や事業所のみなさんと搜索模擬訓練を実施しました～

事前勉強会の振り返りを行ったあと、グループごとに分かれて各地域へ搜索に向かいました。また、グループごとに事業所の方にも入っていただき、搜索・声かけの中でアドバイス等をしていただきました。

＜搜索に関する気づき&振り返り＞

- ・自身の交通安全に注意しながら、人がいないところや狭い道まで搜した。  
⇒有脇地区に住んでおり、地域の地理をよく知っているからこそ搜せると感じた。
- ・声をかける際は、警戒されないように、大勢ではなく1人で、前からゆっくりと話かけた。
- ・電話で報告する際は、本人にわからないようにグループで役割分担をして行った。

行方不明者役の事業所の方から、声かけや体の様子を気遣ってくれてとても安心できたとの声がありました。また、行方不明時の情報を把握し、話がしやすかったとのことでした。

最後に、瑞光の里緑ヶ丘の職員より、「認知症の方を地域で支えるために必要なこと」についてお話いただきました。地域で困っていそうな方を見たら是非声かけをお願いします。

有脇地区で初めて行方不明者搜索模擬訓練を実施し、区長から、『継続して行うことが大切』とありました。今後もこのような取組を続けていきたいと思えます。

今回の訓練を参考に、地域のみなさんと、有脇地区での見守りの仕組みを考えていきます。そして有脇に見守りの目を広げていきましょう♪

また、今回多くの事業所が協力してくださり、地域との繋がりも深くなりました。

ふくし井戸端会議参加者に「にしいろサポーター  
”支”バッジ」を贈呈しました。

地域の中で、心配な方や気になることがあ  
たら社協や市役所にお知らせください。

## ＜お問い合わせ先＞

半田市社会福祉協議会

TEL 0569-23-7361

半田市地域福祉課

TEL 0569-84-0641